

環境が、人を育てる！

「環境が、人を育てる」と、よく言われます。「環境」には、「もの」を整えたりする「環境」もありますし、学んだり活動したりするのに適切な「場所」を「環境」と言うでしょう。また、まわりの「人」「時間」なども一つの「環境」ですね。これらが、整っているかを多面的に考えていくことが、「人を育てる」ことにつながると考えています。

ここで、学校での取組を少し紹介します。

○ 先日から、教室の前方、特に教師用机の周りを片付ける取組を進めています。教師用の定規や模造紙、子供たちに配布する（提出した）ノートやプリント類などを少し少なくしたり、整えたりして、「コチャコチャ感」がなく、気持ちのよい前方を目指しています。

○ 校外学習を活発にしています。先週、六年生の修学旅行を行いました。低学年は「まちたんけん」「シルトピアでの本の借り方体験」、中学年は、社会科学習の一環として、工場見学やごみ処理場などに見学に行く予定です。これらは、教科書だけでは学ぶことのできない「実感を伴った体験を通した学習」となる素晴らしい「場」であると思います。

☆ すべてを紹介はできませんでしたが、私自身も、「朝のあいさつ・帰りのあいさつ」を気持ちよくして、子供たちに「いいあいさつだね。」「ありがとう。」「という言葉を返すようにしています。一人一人の「大人」という環境が集まれば、子供が育つ大きな力になると思っています。保護者・地域の皆様のご協力を今後ともよろしくお願いいたします。

学校長 田丸 栄

